

2017年度の中部産業遺産研究会活動報告

1. 活動の概要

定例研究会は6回開催した。見学会はミニ見学会と産業考古学会を含めて6回開催した。シンポジウム、パネル展、ウェブサイト、産業考古学会名古屋大会などで研究会の活動を知った方から7名の加入申し込みがあった。英語版ガイドブックをウェブサイトに掲載したことで大学など活用が進んだ。名古屋テレビ塔資料調査の取り組みによりシンポジウムのテーマとなり、企業や大学と一緒にシンポジウムが開催でき多くに学生の参加を得ることができた。産業考古学会の名古屋大会を共催したことで新会員が研究報告の機会ができた。また研究会への加入者があった。研究会会員の高齢化は避けられず、若手の会員増の取り組みが必要である。

2. 総会

◆第25回総会 2017/05/28（名古屋市市政資料館 第3集会室）出席者：37名

1. 2016年度(平成28年度)事業報告 大橋公雄
2. 2016年度(平成28年度)決算報告 朝井佐智子
研究会会計・特別会計（田中基金）・シンポジウム会計・書籍会計
3. 2016年度(平成28年度)会計監査報告 植田泰司
研究会会計・特別会計（田中基金）・シンポジウム会計・書籍会計
4. 2017年度(平成29年度)事業計画 大橋公雄
5. 2017年度(平成29年度)予算 朝井佐智子
6. その他 2016～2017年度役員・分掌組織、役員及び分掌幹事(一部訂正) 大橋公雄
記念講演「私と鉄道趣味そして岡崎市内の鉄道・産業遺産」 藤井 建

3. 定例研究会

◆第146回定例研究会 2017/05/28（名古屋市市政資料館 第3集会室）出席者：37名

1. 研究報告、調査報告

- [146-11-01] 「ブリューナ・エンジン複製成功の諸因子、他」 島 和雄
[146-11-02] 「福島原発事故の放射線測定と遺産」 市野清志

◆第147回定例研究会・第4回さんぎ大学講話会（共催）2017/07/23

（トヨタ産業技術記念館ホールA）参加：35名

1. 研究報告、調査報告

- [147-11-01] 「水の土木遺産」こぼれ話 北原 なつ子
[147-11-02] 「中国・大連の産業遺産 その現状と課題」 大島 一郎
[147-11-03] 「富岡製糸所 ブリューナ・エンジン複製成功の映像」 島 和雄

◇2017/07/23 第5回さんぎ大学講話会（共催）

講話①「自動車館の金属熱処理設備の展示とその技術移転史」 講師 橋本 英樹

講話②「アナログメカの魅力 ～先人たちの知恵と工夫のモノづくり～」

講師 木村 雅人（トヨタ産業技術記念館 学芸員）

◆第148回定例研究会・見学会

2017/09/24

参加：24名

「岡谷諏訪の産業遺産をめぐる旅」 案内：林久美子、宮坂春夫、山崎館長

行程：名古屋駅菱信ビル跡8時出発→岡谷蚕糸博物館・宮坂製糸所→岡谷近代化産業遺産めぐり・街あ
るきボランティアの案内：旧岡谷市役所庁舎・製糸工場の煉瓦の丸山タンク・旧林家住宅（重文）・上
蔵倉庫等→諏訪・片倉館（重文、温泉）・諏訪ホテル（特別）→名古屋着解散

◆第149回公開定例研究会 2017/12/03（名古屋都市センターまちづくり広場ホール） 参加者：25名

1. 研究報告、調査報告

[149-11-01] 報告「大連の「日本橋」―その歴史と新たな発見―」 大島一朗

◆第150回定例研究会 2018/01/28 とよた市民活動センター会議室 出席者 32 名

1. 研究報告、調査報告

[150-11-01] 報告「渋川凱旋門」 朝井佐智子

[150-11-02] 報告「北九州の産業観光に関する試験的試み」 市原猛志

[150-11-03] 報告「豊川海軍工廠跡に残る配電盤調査から」 市野清志

[150-11-04] 報告「岐阜県加茂郡東白川村 養蚕糸の歴史」 安江篤志

[150-11-05] 報告「愛岐トンネル群6号トンネルのインバート発掘について」 山田 貢

[150-11-06] 報告「スコットランドの産業遺産を訪ねて」 石田正治

◆第151回定例研究会・見学会 2018/03/04 出席者：22名

「松阪の産業遺産」 案内：天野武弘、かたり部の会中西氏外、寺澤安正、資料館館長

行程：10:00松阪駅集合マイクロバスで出発→丹生鉱山坑口跡→立梅用水（塔ノ本トンネル、ビオト
ープ周辺）→勢和町郷土資料館（水銀関係コーナー）→立梅用水井堰（井堰横の「道の駅茶倉駅」で
昼食休憩を兼ね見学、弁当持参）→中電波多瀬発電所（初期のフランスス水車展示）→
櫛田川突堤（長大な石積突堤）→松浦武四郎記念館→松阪駅着、現地解散

◆ミニ見学会 2018/02/08 「三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所飛島工場」 出席者：13名

4. シンポジウム、その他の催物

◆第13回パネル展と講演会 テーマ：「中部における国産車のあゆみ」

・パネル展 開催時期：2017/11/28（火）～12/10（日）

会 場：名古屋都市センター11F まちづくり広場・企画展示コーナー 入場者：2,198名

・講演会 開催日：2017/12/03（日）

会 場：名古屋都市センター11F まちづくり広場・大研修室 参加者：70名

特別講演 中京デトロイト化計画とその帰結 立正大学経営学部 牧 幸輝准教授

講演 名古屋オートバイ産業の盛衰 冨成 一也（会員）

講演 戦後中部のモータリゼーション 八田 健一郎（会員）

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 参加者：61名

テーマ：「名古屋テレビ塔の新たな旅立ち―ランドマークとしてのこれまでとこれから―」

開催日：2018/03/03（土）13:00～16:50

会 場：名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル5階 キングルーム

講演1 「名古屋テレビ塔のあゆみ -内藤多仲博士の足跡と再発見資料研究の中間報告」

夏目 欣昇氏 建築・デザイン分野 准教授、大嶽 伸 氏 院生（名古屋工業大学）

講演2 「名古屋テレビ塔の価値を見つける ―創建の歴史と技術的価値―」

講師 西澤 崇雄氏（日建設計 エンジニアリング部門 構造設計部 工学博士）

講演3 「名古屋テレビ塔の価値を守る ―免震化改修とデジタル活用―」

講師 若林 亮 氏（日建設計 執行役員 設計部門代表）

質疑応答・パネル討議 会場からの意見交換 など

コーディネータ 水野 信太郎氏（会員 北翔大学 生涯スポーツ学部 教授）

◆産業考古学会2017年度全国大会名古屋大会（共催）2017/10/27～29

10/27（金）プレツアー見学会 四日市の産業遺産と四日市公害と環境未来館

10/28（土）全国大会 トヨタ産業技術記念館

10/29（日）見学会 松阪の産業遺産と資料館

◆「ものづくり文化再発見！ウォーキング」大会（協力）

第18回：常滑市コース 実施日：2017/06/17（土）参加者：617名

第19回：名古屋 有松 新旧“絞り”の技、現代のものづくり現場をめぐるコース 当日有松山車まつり（有松天満社秋季大祭）がおこなわれていた。 実施日：2017/10/01（日） 参加者：699名

5. 刊行物

◆研究会誌『産業遺産研究』第24号 2017/07/23 発行250部

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回講演報告資料集 2018/03/03 発行190部

◆会報（印刷物及び電子版にて発行）

第66号2017/04/21発行、第67号2017/07/12発行、第68号2017/10/15発行、第69号2018/01/15発行、第70号2018/04/15発行

6. その他

◆幹事会 11回・役員会 3回・その他の会議

◆その他の委員会・打ち合わせ等

2016年度の会計監査 2017/04/15 名古屋市東区生涯学習センター 和室

2017年度の会計監査 2018/04/07 名古屋市東区生涯学習センター 第1集会室

産業考古学会名古屋大会の実行委員会 随時 トヨタ産業技術記念館

名古屋テレビ塔の資料調査 随時 テレビ塔3階作業室

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 実行委員会

2017/05/28、07/23、09/24、11/24、2018/01/28 5回実施 他メールを随時

◆第13回パネル展「中部における国産車のあゆみ」勉強会 会場：名古屋都市センター13F 会議室

2017/04/09、06/11、08/06、08/20、10/08、11/04 6回実施

◆第14回パネル展「モダン都市名古屋の形成」（仮）勉強会

会場：名古屋都市センター13F 会議室、2018/02/11、04/14、

◆『産業遺産研究』編集委員会 主にメール会議にて適宜実施

◆「中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版」

月に2回更新 年25回ほど発行

◆「中部産業遺産研究会 ウェブサイト 随時更新

◆図書館への寄贈 愛知県立愛知総合工科高等学校、愛知県図書館、名古屋市鶴舞中央図書館、名城大学図書館へ研究会刊行物の欠号冊子を個人蔵書で寄贈

◆会員異動及び会員数 2017年度の入会者6名、退会者7名、

2018年3月31日の会員数は個人124名、法人2団体、計126名

※参考 2018年度04/01加入1名、2018年4月1日の会員数は個人125名、法人2団体、計127名

2018年度の中部産業遺産研究会事業計画

1. 総会

第26回（2018年度）総会 2018/05/19（名城大学校友会館 3F 第1会議室）

記念講演「アツタ号復元模型の制作」

梅本 良作

2. 事業計画

①諸活動を通じて産業遺産及び関連分野の調査研究を行う。②産業遺産研究の普及、発展に努める。③産業遺産の保存と普及発展に努める。

（1）産業遺産の調査研究

- ・地域の産業遺産の発掘調査に努める。
- ・ものづくり再発見の英語版ガイドブックをウェブサイトで広く宣伝し活用努める。
- ・刊行物の研究会誌、シンポジウムの冊子を電子化して会員及び広く一般の人にも利用に供する。
- ・名古屋テレビ塔の資料調査に協力する。

（2）定例研究会

- ・原則として奇数月の日曜日の午後に研究報告や講座など開催する。
- ・見学会は原則として9月と3月に開催する
- ・内容は産業遺産に関わる研究発表・調査報告（産業遺産の見方・調べ方）、産業遺産の保存問題、研究会誌・会報・ニュースレターの原稿と編集、シンポジウム・見学会・その他の催物の企画、案内、文献・資料の紹介、委員会・役員会の報告、幹事会・事務局関係、近況報告等
- ・産業遺産調査カードを利用するなどして、気軽に発表が誰でも出来るように努める

（3）シンポジウム、見学会、その他の催物

- ・第14回2018年度パネル展、講演会を企画し、名古屋都市センターと共催する。
- ・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回の企画、開催する。
- ・「さんぎ大学」を企画し、トヨタ産業技術記念館と共催する。
- ・平成30年度「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」に協力する。
- ・その他、必要に応じて会員外も参加できる見学会等を計画し、開催する。

（4）刊行物

- ・研究会誌『産業遺産研究』第25号を発行する。
- ・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第37回の開催と講演報告資料集を発行する。
- ・「会報」は、年4回発行し、定例研究会、見学会などの案内と報告を掲載する。
- ・「ニュースレター電子メール版」を随時発行する。

（5）役員会・幹事会・委員会

- ・役員会・幹事会は適宜開催する。検討事項が発生した時には、電子メール会議等によって行う。
- ・研究会誌編集委員会、パネル展の勉強会、シンポジウム実行委員会など各委員会を適宜開く。
- ・会員名簿を作成して、会員に配布する。

（6）諸活動

- ・研究会のウェブサイトの運営と管理をする。

（7）その他

- ・研究会の新会員の募集を積極的行う。法人の賛助会員に努める。
- ・名古屋市文化事業関係自費出版助成金申請を行う。
- ・各種団体の出版助成金申請やシンポ・パネル展への助成金申請に取り組む。